

# 2019年度 第3四半期 決算説明資料

2020年2月4日

**ブラザー工業株式会社**

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

## 2019年度Q3実績

### ✓ 主に産業機器の需要低迷により、減収減益

- ・通信・プリンティング機器は、中国の景気減速による需要の低迷などにより、本体の販売台数は減少も、製品ミックスが改善。消耗品は計画を上回って推移
- ・P&H事業は、最高級刺しゅうミシンの新製品効果が一巡
- ・工業用ミシンは、中国、アジアを中心に需要が低迷
- ・産業機器は、自動車・一般向け、IT向けとも需要が低迷
- ・N&C事業は、新モデルの販売が好調に推移
- ・ドミノ事業は、消耗品がグローバルで堅調に推移

## 2019年度通期見通し

### ✓ 業績予想は、前回予想から変更無し

## 主に産業機器の需要低迷により、減収減益

	18Q3	19Q3	増減	増減率 ( )は為替影響 除く増減率
売上収益	1,781	<b>1,664</b>	-117	-6.6% (-2.9%)
事業セグメント利益	221	<b>183</b>	-37	-16.9%
事業セグメント利益率	12.4%	<b>11.0%</b>		
その他の収益・費用	16	<b>6</b>	-10	
営業利益	236	<b>189</b>	-47	-20.1%
営業利益率	13.3%	<b>11.4%</b>		
税引前利益	236	<b>193</b>	-43	-18.3%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	180	<b>143</b>	-37	-20.4%
USD	112.83	<b>108.98</b>		
EUR	129.19	<b>120.65</b>		

2019年度 第3四半期の連結業績ですが、  
売上収益は、1,664億円となり、  
前年からマイナス6.6%、117億円の減収となりました。  
事業セグメント利益は、183億円となり、  
前年からマイナス16.9%、37億円の減益となりました。

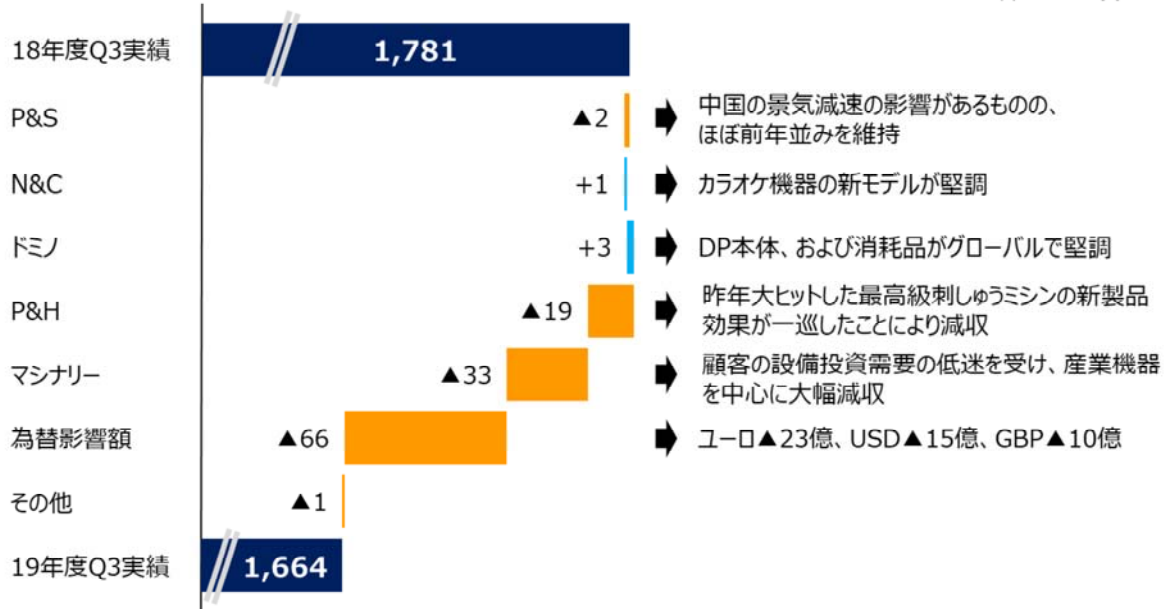
次に、営業利益は、189億円となり、  
前年からマイナス20.1%、47億円の減益となりました。

以上により、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、  
前年からマイナス20.4%の143億円となりました。

ユーロが、前年同期に比較して、約9円の円高となり、  
為替のみで25億円の減益要素があったことに加え、  
主に産業機器の需要の低迷により、減収減益となりました。

## 主に産業機器を中心としたマシナリー事業の低迷と 為替のマイナス影響により減収となる

※増減額は為替影響を除いた実質ベース



© 2020 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

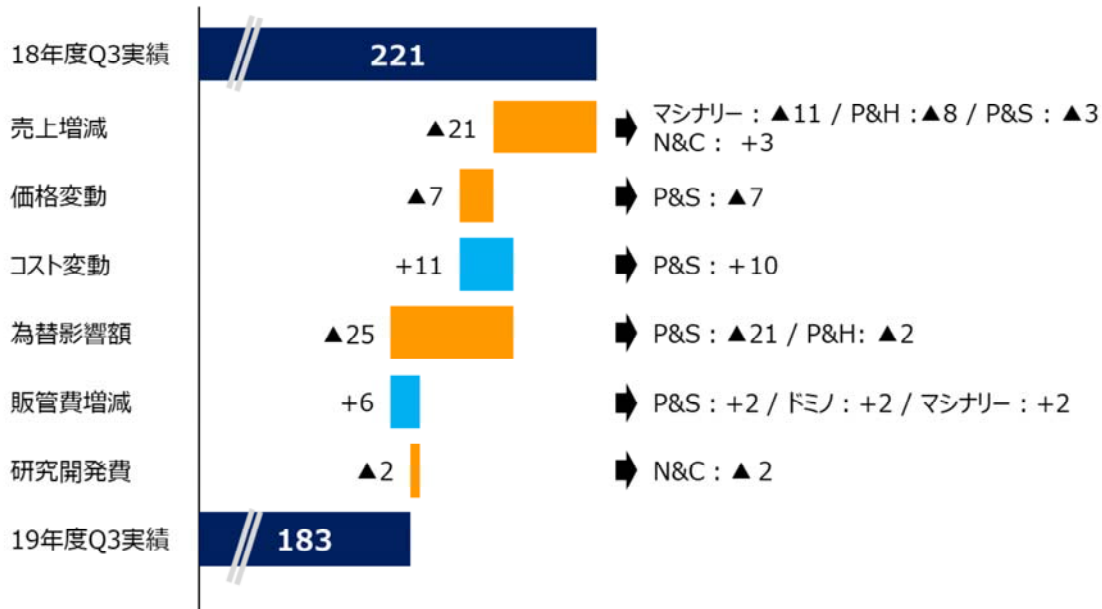
4

売上収益の増減要因です。

- ・P&Sは、中国の景気減速や、日本市場における消費税増税後の反動減があったものの、ほぼ前年並みを維持
- ・N&Cは、カラオケ機器の新モデルが好調に推移し、実質1億円の増収
- ・ドミノは、グローバルで消耗品が堅調に推移し、実質3億円の増収。
- ・P&Hは、昨年大ヒットした最高級刺しゅうミシンの新製品効果が一巡したことにより、実質19億円の減収。
- ・マシナリーは、顧客の設備投資需要の低迷を受け、産業機器を中心に実質33億円の減収。

加えて為替のマイナス影響が全社で、66億円あり、全体で117億円 減収の1,664億円となりました。

主に産業機器を中心としたマシナリー事業の低迷と為替のマイナス影響により減益となる



事業セグメント利益の増減要因です。

売上増減は、産業機器およびP&Hが減収になった影響により、21億円の減益要因となりました。

価格変動は、P&S事業において、インクタンクモデル、およびカラーレーザーでの、一部の国での値下げの影響などにより、7億円の減益要因となりました。

コスト変動は、11億円の増益要因となりました。主にP&S事業における部材のコストダウンです。

為替影響額は、ユーロを中心に25億円の減益要因となりました。主にP&S事業によるものです。

販管費増減は、特に事業間での強弱はありません。

これらの結果、第3四半期の事業セグメント利益は、前年比 マイナス37億円 の183億円となりました。

# 2019年度第3四半期 セグメント別実績

brother  
at your side

単位：億円

		18Q3	19Q3	増減
プリンティング&ソリューションズ	売上収益	1,087	1,039	-48
	事業セグメント利益	166	146	-20
	営業利益	177	151	-26
パーソナル&ホーム	売上収益	141	116	-25
	事業セグメント利益	23	14	-9
	営業利益	25	16	-8
マシナリー	売上収益	225	186	-38
	事業セグメント利益	17	8	-9
	営業利益	17	8	-10
ネットワーク&コンテンツ	売上収益	124	125	1
	事業セグメント利益	7	8	2
	営業利益	7	8	1
ドミノ	売上収益	178	172	-6
	事業セグメント利益	6	8	1
	営業利益	9	7	-2
その他	売上収益	26	25	-1
	事業セグメント利益	2	-0	-2
	営業利益	3	0	-3
合計	売上収益	1,781	1,664	-117
	事業セグメント利益	221	183	-37
	営業利益	236	189	-47

※セグメント間取引消去額は含めておりません。

© 2020 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

# 2019年度通期 連結業績予想概要

brother  
at your side

単位：億円

	前回予想	19年度 予想	増減	18年度	増減	増減率 ( )は為替影響 除く増減率
売上収益	6,420	<b>6,420</b>	-	6,840	-420	-6.1% (-2.5%)
事業セグメント利益	600	<b>600</b>	-	720	-120	-16.6%
事業セグメント利益率	9.3%	<b>9.3%</b>		10.5%		
その他の収益・費用	5	<b>5</b>	-	-0	5	
営業利益	605	<b>605</b>	-	719	-114	-15.9%
営業利益率	9.4%	<b>9.4%</b>		10.5%		
税引前利益	598	<b>598</b>	-	723	-125	-17.3%
親会社の所有者に帰属する当期利益	445	<b>445</b>	-	539	-94	-17.4%
USD	108.53	<b>108.53</b>		110.69		
EUR	120.62	<b>120.62</b>		128.43		
1株当たり配当金 (円)	60.00	<b>60.00</b>		60.00		
連結配当性向 (%)	35.0%	<b>35.0%</b>		28.9%		

✓ 業績予想は、前回予想から変更無し

# 2019年度通期 セグメント別予想

brother  
at your side

単位：億円

		18年度実績	19年度予想	増減	前回予想	19年度予想	増減
プリンティング&ソリューションズ	売上収益	4,030	3,873	-157	3,873	3,873	-
	事業セグメント利益	522	504	-18	504	504	-
	営業利益	529	508	-21	508	508	-
パーソナル&ホーム	売上収益	454	418	-36	418	418	-
	事業セグメント利益	40	27	-13	27	27	-
	営業利益	40	27	-13	27	27	-
マシナリー	売上収益	1,041	798	-243	798	798	-
	事業セグメント利益	98	15	-83	15	15	-
	営業利益	99	14	-85	14	14	-
ネットワーク&コンテンツ	売上収益	479	506	27	506	506	-
	事業セグメント利益	18	19	1	19	19	-
	営業利益	16	17	1	17	17	-
ドミノ	売上収益	712	674	-38	674	674	-
	事業セグメント利益	39	37	-2	37	37	-
	営業利益	29	39	10	39	39	-
その他	売上収益	122	151	29	151	151	-
	事業セグメント利益	4	-2	-6	-2	-2	-
	営業利益	8	0	-8	0	0	-
合計	売上収益	6,840	6,420	-420	6,420	6,420	-
	事業セグメント利益	720	600	-120	600	600	-
	営業利益	719	605	-114	605	605	-

※セグメント間取引消去額は含めておりません。



## 主に産業機器の需要低迷により、減収減益

	18Q3 累計	19Q3 累計	増減	増減率 ( )は為替影響 除く増減率
売上収益	5,218	<b>4,849</b>	-369	-7.1% (-3.8%)
事業セグメント利益	604	<b>545</b>	-59	-9.8%
事業セグメント利益率	11.6%	<b>11.2%</b>		
その他の収益・費用	13	<b>9</b>	-3	
営業利益	617	<b>554</b>	-62	-10.1%
営業利益率	11.8%	<b>11.4%</b>		
税引前利益	620	<b>557</b>	-64	-10.3%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	465	<b>416</b>	-49	-10.6%
USD	110.82	<b>109.10</b>		
EUR	129.38	<b>121.46</b>		

2019年度 第3四半期累計の連結業績ですが、  
売上収益は、4,849億円となり、  
前年からマイナス7.1%、369億円の減収となりました。  
事業セグメント利益は、545億円となり、  
前年からマイナス9.8%、59億円の減益となりました。

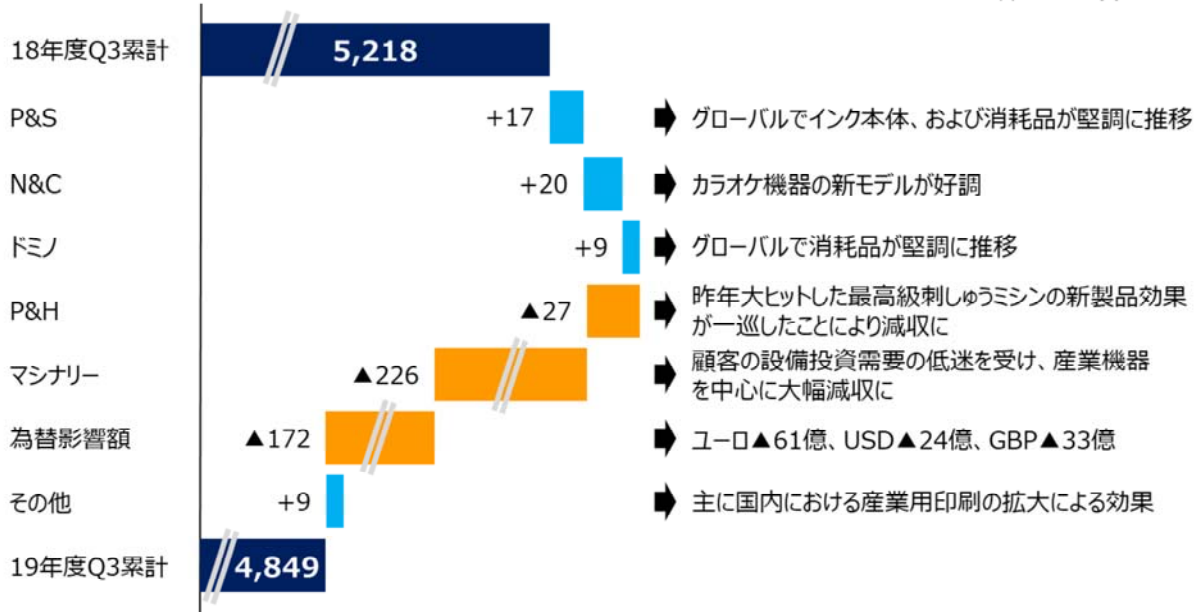
次に、営業利益は、554億円となり、  
前年からマイナス10.1%、62億円の減益となりました。

以上により、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、  
前年からマイナス10.6%の416億円となりました。

ユーロが、前年同期に比較して約8円の円高となり、  
為替のみで74億円の減益要素となりました。

## 主に産業機器を中心としたマシナリー事業の低迷と 為替のマイナス影響により減収となる

※増減額は為替影響を除いた実質ベース

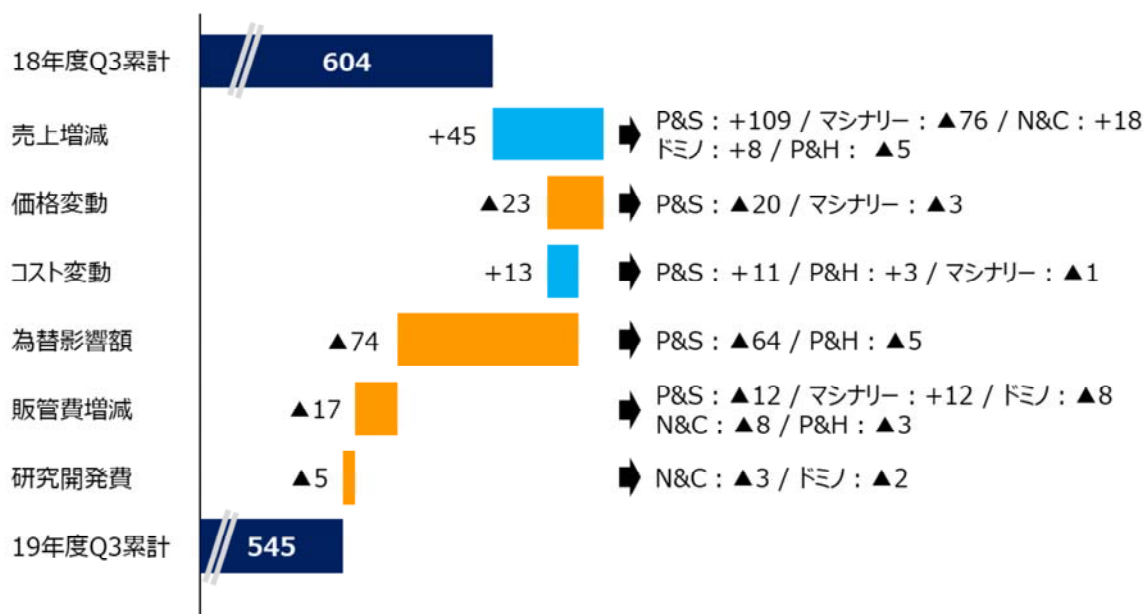


売上収益の増減要因です。

- ・P&Sは、グローバルでインクジェットが堅調に推移したことや、消耗品の堅調さ、また電子文具が堅調だったこともあり、実質17億円の増収となりました。
- ・N&Cは、カラオケ機器の新モデルが好調に推移し、20億円の増収
- ・ドミノは、グローバルで消耗品が堅調に推移し、実質9億円の増収。
- ・P&Hは、昨年大ヒットした最高級刺しゅうミシンの新製品効果が一巡したことに加え、クラフト事業が欧米を中心に需要が低迷したことにより、実質27億円の減収。
- ・マシナリーは、顧客の設備投資需要の低迷を受け、産業機器を中心に実質226億円の大幅な減収。

加えて為替のマイナス影響が全社で、172億円あり、全体で369億円 減収の4,849億円となりました。

P&Sは堅調も、主に産業機器を中心としたマシナリー事業の低迷と為替のマイナス影響により減益となる



事業セグメント利益の増減要因です。

売上増減は、主に産業機器が減収になった影響があったものの、P&Sでの製品ミックスの改善と、消耗品売上の増加、加えてN&Cのカラオケ機器の発売効果により、45億円の増益要因となりました。

価格変動は、P&S事業において、インクタンクモデルおよびカラーレーザーでの、一部の国での値下げの影響などにより、23億円の減益要因となりました。

コスト変動は、13億円の増益要因となりました。主にP&S事業における部材のコストダウンです。

為替影響額は、ユーロを中心に74億円の減益要因となりました。主にP&S事業によるものです。

販管費増減は、17億円の減益要因となりました。

研究開発費は、5億円の減益要因となりました。主に、P&Sの開発費用の減少です。

これらの結果、第3四半期の事業セグメント利益は、前年比 マイナス59 億円 の545億円となりました。

# 2019年度第3四半期（累計） セグメント別実績

brother  
at your side

単位：億円

		18Q3累計	19Q3累計	増減
プリンティング & ソリューションズ	売上収益	3,073	2,972	-102
	事業セグメント利益	434	458	24
	営業利益	439	462	22
パーソナル&ホーム	売上収益	355	315	-40
	事業セグメント利益	34	24	-10
	営業利益	34	25	-9
マシナリー	売上収益	818	579	-239
	事業セグメント利益	88	16	-71
	営業利益	90	16	-73
ネットワーク&コンテンツ	売上収益	357	377	20
	事業セグメント利益	13	19	7
	営業利益	12	19	7
ドミノ	売上収益	526	508	-18
	事業セグメント利益	31	27	-4
	営業利益	34	27	-8
その他	売上収益	90	99	9
	事業セグメント利益	7	3	-4
	営業利益	9	7	-2
合計	売上収益	5,218	4,849	-369
	事業セグメント利益	604	545	-59
	営業利益	617	554	-62

※セグメント間取引消去額は含めておりません。

© 2020 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

# プリンティング&ソリューションズ事業 地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益

brother  
at your side

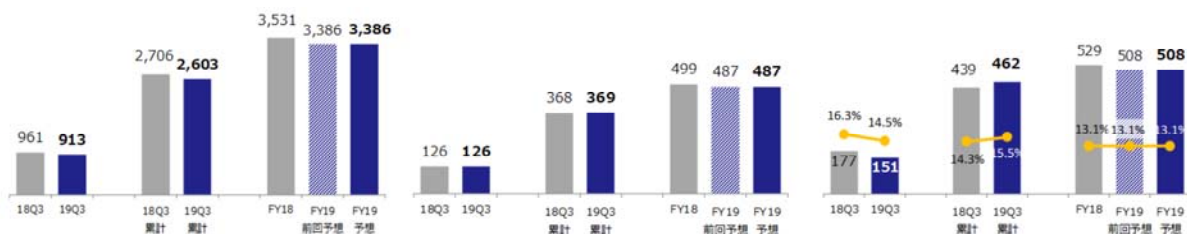
単位：億円

	18Q3	19Q3	増減率	為替影響 率/増減率	18Q3 累計	19Q3 累計	増減率	為替影響 率/増減率	FY18	FY19 前回予想	FY19 予想	対前年 増減率	為替影響 率/増減率
売上収益	1,087	1,039	-4.4%	-0.2%	3,073	2,972	-3.3%	0.6%	4,030	3,873	3,873	-3.9%	0.2%
通信・プリンティング機器	961	913	-5.0%	-0.8%	2,706	2,603	-3.8%	0.1%	3,531	3,386	3,386	-4.1%	0.0%
米州	339	334	-1.5%	3.1%	985	960	-2.5%	0.8%	1,300	1,252	1,252	-3.7%	-0.3%
欧州	334	300	-10.3%	-4.8%	882	829	-6.0%	0.0%	1,162	1,101	1,101	-5.2%	1.0%
アジア他	158	153	-3.0%	1.1%	490	468	-4.5%	-0.4%	620	599	599	-3.4%	1.3%
日本	130	126	-2.9%	-2.9%	349	345	-1.0%	-1.0%	448	433	433	-3.4%	-3.5%
電子文具	126	126	-0.0%	4.6%	368	369	0.2%	4.1%	499	487	487	-2.4%	1.6%
米州	54	58	6.9%	11.5%	171	173	1.3%	4.2%	225	223	223	-1.1%	2.2%
欧州	40	37	-7.3%	-1.4%	105	105	0.0%	6.4%	145	143	143	-1.3%	5.2%
アジア他	20	20	-2.7%	2.1%	62	58	-5.5%	-0.8%	79	74	74	-5.7%	0.4%
日本	11	11	-2.9%	-2.9%	30	32	5.8%	5.8%	50	48	48	-5.2%	-9.0%
事業セグメント利益	166	146	-12.3%	-	434	458	5.6%	-	522	504	504	-3.4%	-
営業利益	177	151	-14.8%	-	439	462	5.1%	-	529	508	508	-4.0%	-

<売上収益> 通信・プリンティング機器

<売上収益> 電子文具

<営業利益>



© 2020 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

13

表の一番左側、第3四半期の前年との比較ですが、P&S事業の第3四半期の売上収益は1,039億円で、現地通貨ベースでは、対前年で マイナス0.2%で、ほぼ前年並みの水準となりました。

内訳ですが、通信・プリンティング機器の売上収益は913億円で、現地通貨ベースでは対前年で マイナス0.8%で、ほぼ前年並みの水準となりました。

地域別では、日本の伸び率が マイナス2.9%となっていますが、消費税の増税後の反動減での、ブラザー販売の売上の減少によるものです。(詳細はスライドP14をご参照ください)

欧州の伸び率は、マイナス4.8%となっていますが、一部の国のチャネル要因などによるもので、トレンドには変化はありません。

次に、電子文具の売上収益は126億円で、現地通貨ベースでは、対前年でプラス4.6%と堅調に推移しました。ラベルライター本体の販売が、米国を中心に堅調に推移したことに加え、モバイルプリンターを中心としたソリューション分野での案件も堅調に推移しました。

事業セグメント利益は、146億円で、対前年でマイナス12.3%の減益となりました。コストダウン効果に加え、製品ミックスの改善、および消耗品が堅調に推移したものの、円高による為替のマイナス影響により減益となりました。営業利益は、151億円で、対前年でマイナス14.8%の減益となりました。

# プリンティング&ソリューションズ事業 主要製品別売上伸び率・構成比

brother  
at your side

	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3	18Q4	19Q1	19Q2	19Q3	17通期	18通期	19通期 (前回予想)	19通期 (今回予想)
<b>LBP</b>															
<b>売上伸び率 (円ベース/前年比)</b>															
本体	13%	24%	23%	11%	1%	-3%	-5%	-17%	-9%	-8%	-7%	17%	-6%	-6%	-6%
消耗品	-1%	2%	9%	1%	1%	1%	-1%	-4%	2%	-6%	-2%	3%	-1%	-3%	-3%
<b>売上伸び率 (現地通貨ベース/前年比)</b>															
本体	12%	15%	15%	10%	2%	0%	-1%	-12%	-6%	-4%	-3%	13%	-2%	-2%	-2%
消耗品	-2%	-8%	2%	-1%	1%	3%	2%	-1%	4%	-1%	3%	-2%	1%	1%	1%
<b>IJP</b>															
<b>売上伸び率 (円ベース/前年比)</b>															
本体	3%	15%	3%	-1%	-6%	-6%	2%	-6%	-2%	8%	-7%	4%	-4%	2%	2%
消耗品	4%	3%	13%	3%	1%	-1%	-3%	-5%	1%	-2%	-8%	6%	-2%	-5%	-5%
<b>売上伸び率 (現地通貨ベース/前年比)</b>															
本体	3%	6%	-3%	-2%	-3%	-2%	6%	-1%	1%	13%	-4%	1%	-1%	6%	6%
消耗品	4%	-5%	6%	1%	1%	0%	-2%	3%	3%	3%	-5%	1%	0%	-1%	-1%
<b>消耗品比率</b>															
	57%	57%	56%	58%	58%	58%	57%	61%	60%	58%	57%	57%	58%	58%	58%
<b>販売台数伸び率 (実績のみ/前年比)</b>															
LBP	13%	9%	10%	3%	-1%	-8%	-7%	-16%	-13%	-4%	-2%	9%	-8%	-	-
IJP	-7%	-5%	-9%	3%	-1%	-2%	-1%	-4%	0%	13%	1%	-5%	-2%	-	-

© 2020 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

14

2019年度第3四半期の売上伸び率ですが、  
レーザーの本体売上伸び率(現地通貨ベース)は、本体がマイナス3%、消耗品がプラス3%となりました。

レーザーの本体売上が減っているのは、中国の景気減速による需要の低迷を受け、主にモノクロレーザーの販売が減少していることや、収益性の良くないモノクロのスーパーローエンドを政策的に減らしていることによるものです。

レーザーの販売台数伸び率は  
マイナス2%と、過去4四半期と比較して、販売台数伸び率のマイナス幅が小さくなっています。  
これは他社向けOEMの減少が一巡したことによるものです。

インクジェットは本体の売上伸び率(現地通貨ベース)はマイナス4%。  
消耗品の売上伸び率はマイナス5%となりました。

先進国では、通常のカートリッジタイプのA4機、および大容量カートリッジを搭載した  
日本で「ファーストタンク」と呼んでいるモデルの本体販売が、ともに堅調に推移しました。

新興国では、インクタンクモデルは引き続き堅調に推移したものの、  
主にインクタンクにおいて一部の国での値下げの影響や、日本での消費増税後の  
反動減などもあり、売上はマイナスとなりました。

消耗品については、欧米での販売が前年を下回った影響により、マイナスとなりました。  
インクの販売台数伸び率は、インクの本体が堅調に推移したことで、プラス1%となりました。

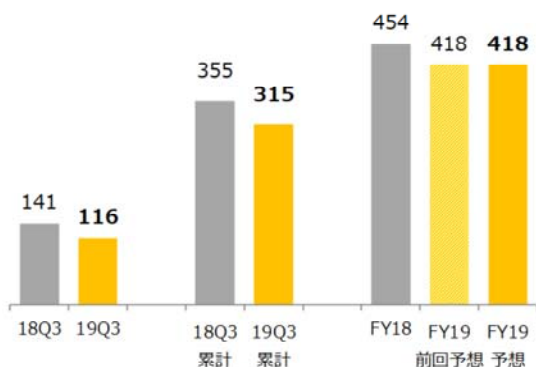
# パーソナル&ホーム事業 地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益

brother  
at your side

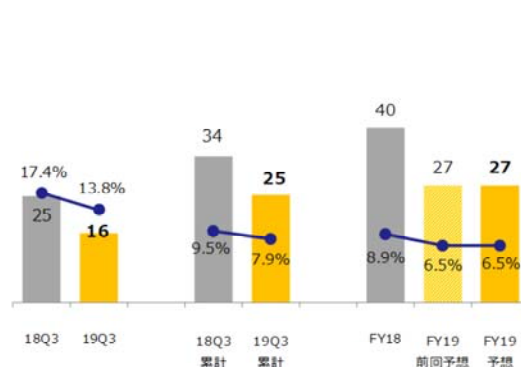
単位：億円

	18Q3	19Q3	増減率	為替影響 除く増減率	18Q3 累計	19Q3 累計	増減率	為替影響 除く増減率	FY18	FY19 前回予想	FY19 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
	売上収益	141	116	-17.5%	-13.4%	355	315	-11.3%	-7.6%	454	418	418	-8.0%
米州	81	63	-23.0%	-19.6%	206	177	-13.8%	-10.9%	258	234	234	-9.4%	-5.8%
欧州	37	34	-7.7%	-1.1%	87	81	-7.3%	-0.8%	111	101	101	-8.7%	-3.2%
アジア他	15	13	-13.6%	-10.0%	39	36	-8.0%	-4.2%	50	49	49	-1.2%	1.5%
日本	8	7	-14.6%	-14.6%	23	21	-9.9%	-9.9%	36	33	33	-6.3%	-4.6%
事業セグメント利益	23	14	-38.6%	-	34	24	-29.3%	-	40	27	27	-33.1%	-
営業利益	25	16	-34.5%	-	34	25	-26.7%	-	40	27	27	-33.0%	-

<売上収益>



<営業利益>



© 2020 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

15

第3四半期の売上収益は116億円、  
現地通貨ベースの伸び率では、マイナス13.4%の減収となりました。

昨年発売した最高級刺しゅうミシンの新モデルの投入効果が一巡したことによる  
売上減少により、減収となりました。

地域別では、昨年発売した最高級刺しゅうミシンの販売が好調であった米州が  
反動減で弱くなっています。

利益については、減収に加え、円高による為替のマイナス影響もあり、  
事業セグメント利益は、14億円で、対前年でマイナス38.6%の減益、  
営業利益は、16億円で、対前年でマイナス34.5%の減益となりました。

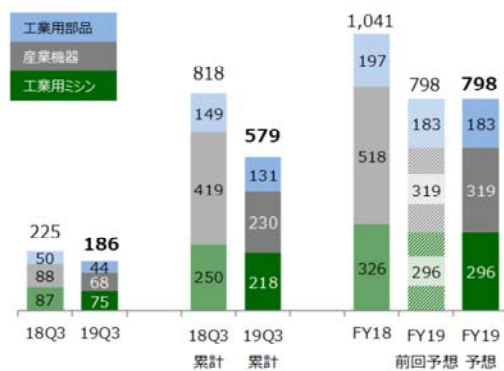
# マシナリー事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

brother  
at your side

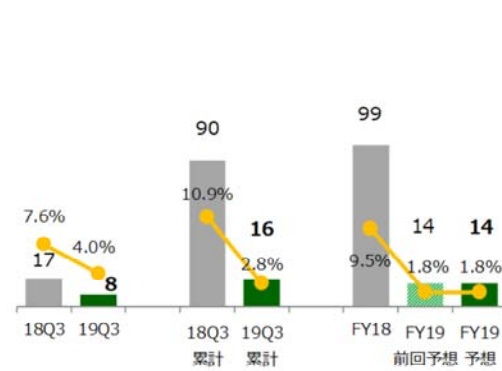
単位：億円

	18Q3		19Q3		増減率	為替影響 除く増減率	18Q3		19Q3		増減率	為替影響 除く増減率	FY18		FY19		対前年 増減率	為替影響 除く増減率
	売上	利益	売上	利益			売上	利益	売上	利益			売上	利益	売上	利益		
売上収益	225	186	186	186	-17.1%	-14.8%	818	579	579	579	-29.2%	-27.6%	1,041	798	798	798	-23.4%	-21.6%
工業用マシン	87	75	75	75	-14.3%	-10.3%	250	218	218	218	-12.5%	-9.2%	326	296	296	296	-9.3%	-5.8%
産業機器	88	68	68	68	-22.3%	-20.9%	419	230	230	230	-45.2%	-44.4%	518	319	319	319	-38.4%	-37.4%
工業用部品	50	44	44	44	-13.0%	-11.9%	149	131	131	131	-12.0%	-11.1%	197	183	183	183	-7.3%	-6.1%
事業セグメント利益	17	8	8	8	-54.1%	-	88	16	16	16	-81.4%	-	98	15	15	15	-84.6%	-
営業利益	17	8	8	8	-56.1%	-	90	16	16	16	-81.7%	-	99	14	14	14	-85.9%	-

<売上収益>



<営業利益>



© 2020 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

16

次に、マシナリー事業です。

第3四半期の売上収益は、マシナリー事業全体で186億円。現地通貨ベースの対前年で マイナス14.8%の減収となりました。

売上収益の内訳は、工業用マシンが75億円、産業機器が68億円、工業用部品が44億円となりました。

工業用マシンは、ガジェットプリンターは欧米を中心にグローバルで需要拡大が続いたものの、工業用マシン全体では、中国やアジアを中心に投資に慎重な姿勢が見られ、需要が低迷したことにより、事業全体で減収となりました。

産業機器は、自動車・一般機械関連向けは、主に中国及びアジアでの需要が低迷したことに加え、IT向けの売上がほぼなくなったことにより、事業全体で大幅な減収となりました。

工業用部品は、国内向けは製造業全般の製造活動鈍化や設備投資抑制の動きが高まったこと、海外向けは主にアジア向けの需要が低迷したことにより、減収となりました。

事業セグメント利益は、産業機器の減収の影響が大きく、事業全体で8億円、対前年で マイナス54.1%の 大幅な減益となりました。営業利益は、8億円、対前年で マイナス56.1%の 大幅な減益となりました。



# マシナリー事業 地域別売上収益

brother  
at your side

単位：億円

	18Q3	19Q3	増減率	為替影響 除く増減率	18Q3 累計	19Q3 累計	増減率	為替影響 除く増減率	FY18	FY19 前回予想	FY19 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
<b>売上収益</b>	<b>225</b>	<b>186</b>	<b>-17.1%</b>	<b>-14.8%</b>	<b>818</b>	<b>579</b>	<b>-29.2%</b>	<b>-27.6%</b>	<b>1,041</b>	<b>798</b>	<b>798</b>	<b>-23.4%</b>	<b>-21.6%</b>
<b>工業用マシン</b>	<b>87</b>	<b>75</b>	<b>-14.3%</b>	<b>-10.3%</b>	<b>250</b>	<b>218</b>	<b>-12.5%</b>	<b>-9.2%</b>	<b>326</b>	<b>296</b>	<b>296</b>	<b>-9.3%</b>	<b>-5.8%</b>
米州	20	21	7.9%	12.0%	52	57	8.5%	11.2%	65	73	73	11.5%	14.0%
欧州	16	18	13.1%	21.1%	54	51	-5.5%	0.8%	71	71	71	-1.3%	5.9%
アジア他	49	33	-33.1%	-30.2%	137	103	-24.6%	-22.1%	181	143	143	-20.9%	-17.9%
日本	2	2	12.3%	12.3%	6	7	16.8%	16.8%	8	9	9	10.2%	3.6%
<b>産業機器</b>	<b>88</b>	<b>68</b>	<b>-22.3%</b>	<b>-20.9%</b>	<b>419</b>	<b>230</b>	<b>-45.2%</b>	<b>-44.4%</b>	<b>518</b>	<b>319</b>	<b>319</b>	<b>-38.4%</b>	<b>-37.4%</b>
米州	7	3	-64.8%	-	28	14	-49.5%	-	33	21	21	-35.2%	-
欧州	5	4	-7.8%	-	24	17	-28.1%	-	30	24	24	-18.6%	-
アジア他	46	41	-11.1%	-	280	127	-54.5%	-	341	178	178	-47.7%	-
日本	29	20	-31.3%	-	88	71	-18.7%	-	114	95	95	-16.4%	-
<b>工業用部品</b>	<b>50</b>	<b>44</b>	<b>-13.0%</b>	<b>-11.9%</b>	<b>149</b>	<b>131</b>	<b>-12.0%</b>	<b>-11.1%</b>	<b>197</b>	<b>183</b>	<b>183</b>	<b>-7.3%</b>	<b>-6.1%</b>
米州	6	5	-15.5%	-12.4%	18	18	-3.6%	-1.8%	25	24	24	-0.5%	0.0%
欧州	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アジア他	5	5	-11.9%	-5.7%	17	14	-16.5%	-10.7%	22	20	20	-8.0%	-1.5%
日本	38	33	-12.7%	-12.7%	113	99	-12.7%	-12.7%	150	139	139	-7.9%	-7.8%

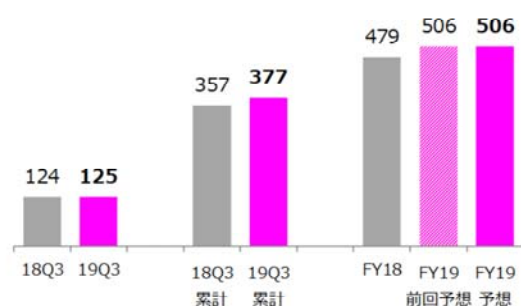
# ネットワーク&コンテンツ事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

brother  
at your side

単位：億円

	18Q3	19Q3	増減率	18Q3 累計	19Q3 累計	増減率	FY18	FY19 前回予想	FY19 予想	対前年 増減率
売上収益	124	125	0.7%	357	377	5.6%	479	506	506	5.6%
事業セグメント利益	7	8	28.3%	13	19	53.7%	18	19	19	6.8%
営業利益	7	8	19.0%	12	19	61.5%	16	17	17	6.7%

<売上収益>



<営業利益>



© 2020 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

18

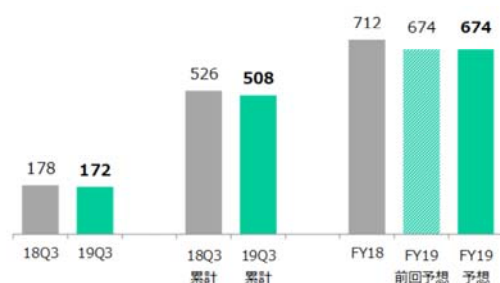
次に、ネットワーク・アンド・コンテンツ事業です。

第3四半期の売上収益は、125億円、前年比でプラス0.7%となりました。消費税増税後の需要の落ち込みなどにより店舗事業の売上は減少したものの、6月に販売を開始した、通信カラオケ機器の新モデル「JOYSOUND MAX GO」の販売が好調に推移したことなどにより、増収となりました。

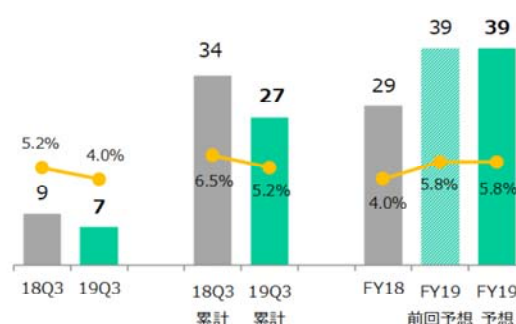
通信カラオケ機器の新モデルの発売が好調に推移したことなどにより、事業セグメント利益は8億円、営業利益は8億円で、対前年で増益となりました。

	18Q3	19Q3	増減率	為替影響 除く増減率	18Q3 累計	19Q3 累計	増減率	為替影響 除く増減率	FY18	FY19 前回予想	FY19 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	178	172	-3.4%	1.6%	526	508	-3.4%	1.8%	712	674	674	-5.4%	0.8%
米州	42	42	1.5%	5.6%	118	123	4.6%	7.5%	159	158	158	-0.9%	5.9%
欧州	92	82	-10.5%	-5.5%	263	243	-7.7%	-1.6%	358	336	336	-6.2%	0.0%
アジア他	45	48	6.7%	12.2%	145	141	-2.2%	3.2%	195	180	180	-7.6%	3.8%
事業セグメント利益	6	8	19.5%	-	31	27	-12.9%	-	39	37	37	-6.3%	-
営業利益	9	7	-25.9%	-	34	27	-22.1%	-	29	39	39	36.1%	-

<売上収益>



<営業利益>



売上収益は172億円、ポンドベースの伸び率では、前年比 プラス1.6%の増収となりました。

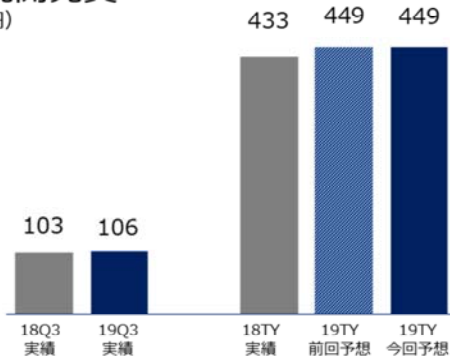
主にコーディング・マーキング機器の製品本体の売上は減少したものの、デジタル印刷機は堅調に推移しました。

消耗品は、コーディング・マーキング機器、デジタル印刷機ともグローバルで堅調に推移しました。

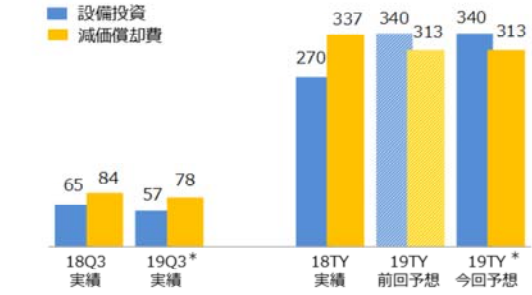
一方で、為替のマイナス影響があり、事業全体では減収となりました。

研究開発費等の先行投資増加の影響があるものの、事業セグメント利益は8億円、営業利益は7億円となりました。利益については、ほぼ計画線で推移しています。

研究開発費  
(億円)



設備投資・減価償却費  
(億円)



\*IFRS第16号「リース」適用による使用権資産の取得および償却を除く

棚卸資産  
(億円)



※棚卸資産回転月数 = 棚卸資産 ÷ (1ヶ月平均売上原価)

**brother**  
at your side